

『『未知への挑戦』とくしま行動計画』改善見直しシート

資料3

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

1-1 移住交流拡大！深化する地方創生

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
28	1-1-4	77	●夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、本場徳島をPRする「世界阿波おどりサミット（仮称）」を開催し、世界に発信することにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。＜商工＞	推進				●夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、本場徳島をPRする「 <u>世界阿波おどりサミット</u> 」を開催し、世界に発信することにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。＜商工＞					正式名称が決定したため、「仮称」を削除する。	商工
			○「世界阿波おどりサミット（仮称）」の開催（'19）開催					○「 <u>世界阿波おどりサミット</u> 」の開催（'19）開催						
			○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の海外公演及び指導者派遣回数（累計）（'17）4回→（'22）30回	15回	20回	25回	30回							

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

1-2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
41	1-2-1	80	●「徳島県立総合高等学校(まなびーあ徳島)」において、生涯学習に関するワンストップでの情報提供や、県民ニーズや社会情勢を捉えた講座の充実により、ライフステージに応じたリカレント教育をはじめ、県民の生涯学習の一層の充実・強化を図ります。＜政策＞	推進									名称が確定したため。	政策
			○主催講座受講者数 (‘17) 96,668人→(‘22) 100,000人 *過去4年平均	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人							
			○「とくしまリカレント教育支援センター(仮称)」の設置 (‘19) 設置					○「とくしまリカレント教育支援センター」の設置 (‘19) 設置						
			○高等教育機関と連携して開発するリカレント教育プログラム数 (‘17) →(‘22) 14件(累計)	8件	10件	12件	14件							
44	1-2-1	80	●次代の農林水産業を担う新規就業人材の育成・確保はもとより、リカレント教育の推進による多様な担い手の育成強化を図るため、農林水産3分野のサイエンスゾーンを核に、産学官金連携による相乗効果を発揮させ、各分野のアカデミー再構築による「とくしま農林水産未来人材スクール(仮称)」を新たに開設し、学生をはじめとする若者、女性、障がい者、アクティブシニア等のキャリア形成・スキルアップを支援します。＜農林＞	推進				●次代の農林水産業を担う新規就業人材の育成・確保はもとより、リカレント教育の推進による多様な担い手の育成強化を図るため、農林水産3分野のサイエンスゾーンを核に、産学官金連携による相乗効果を発揮させ、各分野のアカデミー再構築による「とくしま農林水産未来人材スクール」を新たに開設し、学生をはじめとする若者、女性、障がい者、アクティブシニア等のキャリア形成・スキルアップを支援します。＜農林＞					「とくしま農林水産未来人材スクール」に名称が確定したため。	農林
			○農林水産業新規就業者数(累計) (‘17) 879人→(‘22) 2,280人	1,490人	1,760人	2,020人	2,280人							
			○農林水産業リカレント教育修了者数(累計) (‘17) 152人→(‘22) 1,230人	540人	770人	1,000人	1,230人							

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

1-3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
67	1-3-2	86	●「徳島県立総合高等学校(まなびーあ徳島)」において、生涯学習に関するワンストップでの情報提供や、県民ニーズや社会情勢を捉えた講座の充実により、ライフステージに応じたリカレント教育をはじめ、県民の生涯学習の一層の充実・強化を図ります。〈再掲〉〈政策〉	推進									名称が確定したため。	政策
			○主催講座受講者数 (‘17) 96,668人→(‘22) 100,000人 *過去4年平均	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人							
			○とくしまリカレント教育支援センター(仮称)の設置 (‘19) 設置					○「とくしまリカレント教育支援センター」の設置 (‘19) 設置						
			○高等教育機関と連携して開発するリカレント教育プログラム数 (‘17) →(‘22) 14件(累計)	8件	10件	12件	14件							
71	1-3-3	86	●質の高い介護サービスを適正に提供するため、十分な研修の機会を確保することにより、介護サービス従事者の育成・確保や専門性の向上を推進します。〈保健〉	推進									介護に関する入門的研修について、介護人材のすそ野拡大のため、実施回数を拡大した結果、受講希望者が多かったことから、計画の数値目標の修正を行う。	保健
			○介護に関する入門的研修全課程(2課程) 修了者数(累計) (‘17) →(‘22) 80人	20人	40人	60人	80人	○介護に関する入門的研修全課程(2課程) 修了者数(累計) (‘17) →(‘22) 300人	120人	180人	240人	300人		
			○主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数 (累計) (‘17) 39人→(‘22) 240人	120人	160人	200人	240人							

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

1-4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
78	1-4-1	88	● 県庁舎を訪れるすべての人が、不自由さを感じることなく、安心して利用できる快適な空間づくりを進めるため、県庁舎におけるユニバーサルデザインへの対応をより一層推進します。＜経営＞	推進									2019(R1)に着手したことにより、2021(R3)までに屋内・屋外とも整備が完了する見通しがついたため(万代庁舎) ※R1屋外整備 R2-R3屋内整備	経営
			○視覚障がい者の立場により配慮した点字ブロックの整備 (‘19) 着手					○視覚障がい者の立場により配慮した点字ブロックの整備、 <u>(万代庁舎)</u> (‘19) 着手 <u>二(‘21)完成</u>						
80	1-4-2	88	● 「徳島県障がい者の雇用の促進等に関する条例」や「とくしま障がい者雇用促進行動計画(第5期)」に基づき、教育・福祉などの関係機関はもとより、企業や業界団体との協働による「障がい者雇用」の促進や、職場訓練や就業生活支援などの「職場定着」に向けた取組みを充実します。＜商工＞	推進									本年8月に「とくしま障がい者雇用促進行動計画(第5期)」を策定し、障がい者雇用のより一層の促進を図ることとしており、同計画の目標値(令和4年度 2.30%)の早期実現を図るため、見直しを行う。	商工
			○民間企業の障がい者雇用率 (‘17) 2.17%→(‘22) 2.30%	2.20%	2.23%	2.26%	2.30%		2.20%	2.23%	2.30%	2.30%		

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

1-5 次代へつなぐ！少子化対策の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
131	1-5-3	98	様々な事情により家庭で育てられない子どもに対して、児童養護施設の専門性を生かした養育を活用するとともに、里親制度について、全国里親大会徳島開催を契機とした普及啓発活動や、国の新たなビジョンに基づく「県社会的養育推進計画」の策定・推進により、より家庭的な環境で児童が養育できるよう取り組みます。＜県民＞	推進									より適切な養育環境を整備するため、「フォスタリング機関」による包括的な里親養育支援体制の構築に取り組む。	県民
新規								○「フォスタリング（里親養育包括支援）機関」の設置 ('20)設置						
			○里親等委託率 ('17) 13.0%→('22) 16.8%	14.4%	15.2%	16.0%	16.8%							

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

2-1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
136	2-1-1	100	●DV・ストーカー、児童虐待事案への対応をはじめとした平素の治安維持はもとより、大規模災害発生時の救出救助活動等や治安対策を的確に行うため、管轄区域の見直しや警察署及び交番・駐在所の再編・整備など組織体制の再構築を行うとともに、効率的な人員配置により、柔軟で強靱な組織基盤の確立を図ります。＜警察＞ ○新防災センター「徳島中央警察署」の整備 (’20) 供用 ○「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」に基づく、交番・駐在所の更なる統合や管轄区域の見直し等に係る具体的計画の策定 (’19) 策定	推進					○「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」を具現化した「 <u>地域警察再編計画</u> 」(仮称)の策定 (’19) 策定・ <u>推進</u>					「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」に基づく、交番・駐在所の更なる統合や管轄区域の見直し等に係る具体的計画である「 <u>地域警察再編計画</u> 」(仮称)については、19年度をもって「策定」は完了することから、20年度以降にあっては、当該計画の「推進」を行う。	警察	
141	2-1-1	101	●GIS(地理情報システム)を利用した「災害時情報共有システム」や「すだちくんメール」、「安心とくしまホームページ」などを活用し、情報提供の迅速化、関係者連携の高度化、被災状況や被災者ニーズ把握などの効率化を図ります。＜危機＞ ○すだちくんメール 登録者数(累計) (’17) 28,100人→(’22) 51,000人 ○地域SNS登録数(累計) (’17) 1,227グループ→(’22) 1,500グループ	推進						○地域SNS登録数(累計) (’17) 1,227グループ→(’22) <u>1,550グループ</u>					「すだちくんメール」を活用した関係者連携の高度化を図るとともに、令和元年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、地域SNS登録数を上方修正する。	危機
146	2-1-1	101	●定期的な情報収集やサーベイランス※、防疫資材の備蓄及び防疫演習を実施し、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等が発生した場合、家畜、家さん等の殺処分、移動制限等必要な防疫措置を的確かつ迅速に実施する体制の安定的維持を推進します。＜農林＞	推進					●定期的な情報収集やサーベイランス※、防疫資材の備蓄及び防疫演習を実施し、口蹄疫、 <u>CSF(豚コレラ)</u> 、高病原性鳥インフルエンザ等が発生した場合、家畜、家さん等の殺処分、移動制限等必要な防疫措置を的確かつ迅速に実施する体制の安定的維持を推進します。＜農林＞	推進				昨年度に発生したCSFの拡大を踏まえて追記する。	農林	
新規									● <u>県土整備部や農林水産部の技術職員から構成する「徳島県緊急災害対策派遣チーム」(呼称：TEC＝徳島)に、上空から安全かつ迅速に広域的な被災状況調査を行う「ドローン部門」を創設し、被災地の応急復旧対策等を支援します。</u> <u>＜農林・県土＞</u>	創設	運用			大規模災害発生時に、被災地の早期復旧を支援するため、上空から安全かつ迅速に広域的な被災状況調査を行う「ドローン部門」を、TEC＝徳島に新たに設置したことによる。 (令和元年10月9日)	農林・ 県土	
181	2-1-4	107	●大規模災害時に、高齢者や障がい者等の要配慮者が、安心して避難生活を送るため、市町村における福祉施設、宿泊施設の「福祉避難所」への指定及び円滑な運営体制の整備を支援します。＜保健・商工＞ ○「福祉避難所」指定施設数 (’17) 167施設→(’22) 250施設	推進					●大規模災害時に、高齢者や障がい者等の要配慮者が、安心して避難生活を送るため、市町村における福祉施設、宿泊施設、 <u>公共施設</u> の「福祉避難所」への指定や円滑な運営体制の整備を支援します。＜保健・商工＞	推進				全国で災害時に福祉専門職を派遣し、一般避難所や福祉避難所を支援する仕組みの構築が進んでいることから、平時において常勤の介護職員等の配置の無い(少ない)施設においても、災害時に福祉避難所(福祉避難室)として利用できる可能性が高まってきたことから、福祉避難所として指定を進める施設の対象を広げる。	保健・ 商工	

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

2-2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
200	2-2-1	110	●災害発生時の円滑な避難を確保するため、地域防災計画に位置づけられた避難路について土砂災害対策と併せた保全を推進します。＜県土＞	推進									「令和元年台風第19号」をはじめとする土砂災害の頻発・激甚化を受け、県民の安全・安心に向けた事前防災をより強力に推進するため、本年11月補正予算案に「避難路等の詳細調査」に必要な経費を計上するとともに、「新たに保全された避難路の箇所数」の数値目標を上方修正する。	県土	
			○新たに保全された避難路の箇所数（累計） （'17）→（'22）12箇所	3箇所	6箇所	9箇所	12箇所	○新たに保全された避難路の箇所数（累計） （'17）→（'22）15箇所	3箇所	7箇所	11箇所	15箇所			
205	2-2-2	111	●高速道路ネットワークの機能強化を図るため、津田地区及び立江・櫛淵地区への追加IC、阿南IC追加ランプを設置するとともに、徳島自動車道における暫定二車線区間の4車線化など、道路を賢く使う取組みを推進します。 ＜県土＞	推進										「立江櫛淵ICの連結許可取得(R1.9)」による工程の見直しに伴い、数値目標を上方修正する。	県土
			○津田地区への追加IC設置 （'17）工事施工中→（'20）設置												
			○阿南ICへの追加ランプ設置 （'17）調査設計中→（'22）工事推進中												
			○立江・櫛淵地区への追加IC設置 （'17）調査設計中→（'22）用地買収推進中					○立江・櫛淵地区への追加IC設置 （'17）調査設計中→（'22）工事推進中							
			○徳島自動車道(阿波PA付近 延長7.5km)の付加車線設置 （'17）工事促進中→（'20）供用												
			○徳島自動車道(脇町IC～美馬IC 延長4.8km)の付加車線設置 （'17）→（'19）事業着手・（'22）工事促進中												
214	2-2-3	113	●気候変動に伴う水害の頻発・激甚化に対して、住民の避難行動を促し、人的被害をなくすため、分かりやすい水位情報の発信や洪水浸水想定区域・洪水タイムラインの周知を推進します。＜県土＞	推進				●気候変動に伴う水害の頻発・激甚化に対して、住民の避難行動を促し、人的被害をなくすため、分かりやすい水位情報の発信や洪水浸水想定区域・洪水タイムライン・ファミリータイムラインの周知を推進します。＜県土＞						「平成30年7月豪雨」や「令和元年台風第19号」による未曾有の大水害を受け、「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた避難意識の醸成を図るため、本年11月補正予算案に「ファミリータイムラインの作成支援」に必要な経費を計上するとともに、新たな主要事業を追加する。	県土
			○危機管理型水位計の整備 （'17）→（'20）50箇所	30箇所	50箇所										
			○洪水浸水想定区域図の作成 （'17）→（'19）16河川	16河川											
			○洪水タイムラインの作成 （'17）1河川→（'19）16河川	16河川											
新規								○ファミリータイムラインの作成（累計） （'17）→（'22）7地区	1地区	3地区	5地区	7地区			

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

2-4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
268	2-4-4	123	● 家畜伝染病の発生予防及び飼養衛生管理基準の徹底指導により、安全・安心な畜産物の供給を推進します。＜農林＞	推進				● 家畜伝染病の発生予防及び飼養衛生管理基準の徹底指導並びに和牛遺伝資源の適正な流通管理の徹底により、安全・安心な畜産物の供給や和牛遺伝資源の保護を推進します。＜農林＞	推進				和牛遺伝資源流出防止を図るため、「徳島県和牛遺伝資源の流通管理の適正化に関する実施要綱」を令和元年5月に制定したことを踏まえ、目標を見直す。	農林
			○畜産農家の立入検査の実施率 (‘17) 100%→(‘19) ～(‘22) 毎年100%	100%	100%	100%	100%	○畜産農家及び家畜人工授精所等への立入検査の実施率 (‘17) 100%→(‘19) ～(‘22) 毎年100%	100%	100%	100%	100%		
277	2-4-5	125	● DV・ストーカー、児童虐待事案への対応をはじめとした平素の治安維持はもとより、大規模災害発生時の救出救助活動等や治安対策を的確に行うため、管轄区域の見直しや警察署及び交番・駐在所の再編・整備など組織体制の再構築を行うとともに、効率的な人員配置により、柔軟で強靱な組織基盤の確立を図ります。＜再掲＞＜警察＞	推進									「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」に基づく、交番・駐在所の更なる統合や管轄区域の見直し等に係る具体的計画である「地域警察再編計画」(仮称)については、19年度をもって「策定」は完了することから、20年度以降にあっては、当該計画の「推進」を行う。	警察
			○新防災センター「徳島中央警察署」の整備 (‘20) 供用											
			○「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」に基づく、交番・駐在所の更なる統合や管轄区域の見直し等に係る具体的計画の策定 (‘19) 策定					○「地域警察の再構築に向けた中長期ビジョン」を具現化した「地域警察再編計画」(仮称)の策定 (‘19) 策定・推進						
282	2-4-6	126	● 県南部・県西部の住民にも運転免許更新時における「即日交付」の利便性を拡充するため、阿南市及び阿波市に「運転免許センター」を整備します。＜警察＞	整備	開設	推進		● 県南部・県西部の住民にも運転免許更新時における「即日交付」の利便性を拡充するため、阿南市及び阿波市に「運転免許センター」を整備します。また、各運転免許センターからの遠隔地における県民の利便性向上を図るため、「出張型運転免許更新」制度を創設します。＜警察＞	整備	推進			令和2年4月1日をもって運転免許センターの「整備」は完了することから、令和2年度以降にあっては、運転免許センターの「運用」と出張型運転免許更新による県民サービス向上の「推進」に変更。	警察
新規			○運転免許センター（阿南市、阿波市）の開設 (‘20) 開設					○運転免許センター（阿南市、阿波市）の開設及び「出張型運転免許更新」制度の創設 (‘20) 開設・創設						

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

2-5 野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
287	2-5-1	127	● わな猟免許取得者の拡大や技術向上に向けた取組みを進め、ニホンシカやイノシシ等の捕獲数の増加を図るため、独自に開発した効率的なわなのアイデアコンテストや、県民参加型捕獲大会「わなりんピック（仮称）」を開催します。＜農林＞	推進				● わな猟免許取得者の拡大や技術向上に向けた取組みを進め、ニホンシカやイノシシ等の捕獲数の増加を図るため、独自に開発した効率的なわなのアイデアコンテストや、県民参加型捕獲大会「 わなりんピック 」などを開催し、 狩猟の魅力発信 を図ります。＜農林＞					今年度で開催する「わなりんピック」などを通し、計画期間中に狩猟の魅力を発信することから、その旨追記。	農林
			○「わなりんピック（仮称）」の開催 ('19) 開催					○「 わなりんピック 」の開催 ('19) 開催					「わなりんピック」に名称が確定したため。	
291	2-5-1	128	● 「阿波地美栄」の供給体制の強化や取扱店舗数の拡大を図るとともに、県民の食文化への定着をはじめ、ハラル対応シカ肉の国内外向けPR活動等を通じて消費拡大を図ります。＜農林＞	推進				● 「阿波地美栄」の供給体制の強化や取扱店舗数の拡大、 狩猟の魅力発信 を図るとともに、県民の食文化への定着をはじめ、ハラル対応シカ肉の国内外向けPR活動等を通じて消費拡大を図ります。＜農林＞					毎年度開催する「阿波地美栄×狩猟フェスタ」などを通し、計画期間中に狩猟の魅力を発信することから、その旨追記。	農林
			○「阿波地美栄サミット（仮称）」の開催 ('19) ～('22) 開催					○「阿波地美栄× 狩猟フェスタ 」の開催 ('19) ～('22) 開催					「阿波地美栄×狩猟フェスタ」に名称が確定したため。	
			○徳島型養鹿システムの導入箇所数 ('17) →('22) 3箇所		1箇所	2箇所	3箇所	○徳島型 鹿の一時飼養 システムの導入箇所数 ('17) →('22) 3箇所					「徳島型鹿の一時飼養システム」に名称が確定したため。	
			○東部圏域における処理加工施設 ('17) →('20) 整備											
			○「阿波地美栄」取扱店舗数 ('17) 35店舗→('22) 56店舗	44店舗	48店舗	52店舗	56店舗							

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

3-1 全国を先導！第4次産業革命の実装

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
300	3-1-1	131	● 中小企業において常態化しつつある深刻な人手不足の解消や第4次産業革命への対応に向け、生産性向上につながる設備等の導入を支援するため、中小企業向け融資制度において「生産性革命応援資金（仮称）」を創設し、資金調達の円滑化を図ります。＜商工＞	推進				● 中小企業において常態化しつつある深刻な人手不足の解消や第4次産業革命への対応に向け、生産性向上につながる設備等の導入を支援するため、中小企業向け融資制度において「 <u>生産性革命応援資金</u> 」を創設し、資金調達の円滑化を図ります。＜商工＞					正式名称が決定したため、「仮称」を削除する。	商工
			○「生産性革命応援資金（仮称）」の創設 ('19) 創設					○「 <u>生産性革命応援資金</u> 」の創設 ('19) 創設						
310	3-1-2	133	● 4KやVR（ヴァーチャルリアリティ）等の優れた映像クリエイターや関連事業者を徳島へ集積させるため、「映像先進地徳島」の国内外への発信に取り組みます。＜商工＞	推進										
			○4K・VR関連企業（者）数 ('17) 14社（者）→('22) 24社（者）	18社	20社	22社	24社						正式名称が決定したため、名称を変更するとともに、初年度以降も継続実施することとし、「あわ文化4大モチーフ」などを題材とした映像作品の作成を促進し、受賞作品を活用した地域の魅力発信に取り組む。	商工
			○「徳島4K文化賞（仮称）」の創設 ('19) 創設					○4K・VR映画祭における「 <u>あわ文化振興部門</u> 」の創設 ('19) 創設						
			○4K・VR映画祭の開催 ('18) 拡大→('19) ～継続											

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

3-2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
334	3-2-3	138	●夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、本場徳島をPRする「世界阿波おどりサミット(仮称)」を開催し、世界に発信することにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。(再掲)＜商工＞	推進				●夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、本場徳島をPRする「 <u>世界阿波おどりサミット</u> 」を開催し、世界に発信することにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。(再掲)＜商工＞					正式名称が決定したため、「仮称」を削除する。	商工
			○「世界阿波おどりサミット(仮称)」の開催('19) 開催					○「 <u>世界阿波おどりサミット</u> 」の開催('19) 開催						

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

3-3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
347	3-3-1	141	●LEDパレイ徳島の世界展開を進めるため、LED関連企業の開発・生産、ブランド化、販路開拓などを支援することにより、次世代LED産業クラスターの形成を推進します。＜商工・警察＞	推進				●LEDパレイ徳島の世界展開を進めるため、「 <u>次世代LEDパレイ構想</u> 」に基づき、LED関連企業の開発・生産、ブランド化、販路開拓などを支援することにより、次世代LED産業クラスターの形成を推進します。＜商工・警察＞					本年7月に策定した「次世代LEDパレイ構想」を指針とし、本県LED関連産業の更なる振興に取り組む。	商工・警察
			○LED応用製品開発支援件数(累計) (‘17) 168件→(‘22) 290件	200件	230件	260件	290件							
			○国際規格(ISO17025)適合の成績証明書を付与した製品数(累計) (‘17) 6製品→(‘22) 35製品	20製品	25製品	30製品	35製品							
			○LED応用製品の海外市場開拓数(累計) (‘17) 10か国→(‘22) 18か国	12か国	14か国	16か国	18か国							
			○車両用LED式信号灯の割合(再掲) (‘17) 77.0%→(‘22) 87%	81.0%	83.0%	85.0%	87.0%							
354	3-3-2	142	●規模拡大や多角化により農業経営の改善・発展を図るため、農業法人の育成を推進します。また、多様な人材により労働力不足を補うため、農福連携、外国人の活用等を推進します。＜農林＞	推進				●規模拡大や多角化による農業経営の改善・発展や、 <u>雇用就農者の受入れ環境の充実</u> を図るため、農業法人の育成を推進します。また、多様な人材により労働力不足を補うため、農福連携、外国人の活用等を推進します。＜農林＞					県や農業会議等で構成する「徳島県担い手育成総合支援協議会」において、農業経営の法人化にあたり、経営規模の拡大だけでなく、雇用就農者の受入れ環境の充実等についても経営相談を実施していることから追記。	農林
			○「農福連携」マッチング数 (‘17) 2件→(‘19) ～(‘22) 年間3件	3件	3件	3件	3件							
			○外国人活用セミナー開催数 (‘17) ー→(‘19) ～(‘22) 年間3回	3回	3回	3回	3回							
			○農業法人数(累計) (‘17) 291経営体→(‘22) 315経営体	300経営体	305経営体	310経営体	315経営体							
362	3-3-2	143	●南部圏域ならではの魚類、海藻類やキュウリ等の農水産物を活用した6次産業化を推進するため、6次産業化に取り組む女性や関係事業者等とのネットワークを構築することで、魅力ある商品の開発・販路拡大の支援を行います。＜南部＞	推進				●南部圏域ならではの魚類、海藻類やキュウリ等の農水産物を活用した6次産業化を推進するため、6次産業化に取り組む女性や関係事業者等とのネットワークを構築することで、魅力ある商品の開発・販路拡大、 <u>農家レストランや農業体験等を支援します。</u> ＜南部＞	推進				農業者や水産事業者、加工事業者に加え、大学生・移住者・SO等と連携し、多様な視点での意見を取り入れた6次産業化の取組み事例が増加傾向にあり、今後は、商品開発数が目標値を上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、新商品開発数を上方修正する。	南部
			○新商品開発数(累計) (‘17) ー→(‘22) 10商品	4商品	6商品	8商品	10商品	○新商品開発数(累計) (‘17) ー→(‘22) <u>14商品</u>	<u>5商品</u>	<u>8商品</u>	<u>11商品</u>	<u>14商品</u>		
388	3-3-6	148	●県内企業の海外展開・販路拡大を促進するため、新たにフリストップ相談窓口を設置するとともに、国際ビジネスの即戦力となる人材育成、商談会開催や海外見本市への支援等を通じたビジネスチャンスの創出により、県内企業のグローバル展開を支援します。＜商工＞	実施				●県内企業の海外展開・販路拡大を促進するため、「 <u>徳島県経済グローバル対応基本方針</u> 」に基づき、新たにフリストップ相談窓口を設置するとともに、国際ビジネスの即戦力となる人材育成、商談会開催や海外見本市への支援等を通じたビジネスチャンスの創出により、県内企業のグローバル展開を支援します。＜商工＞					本県の強みを活かした戦略的・効果的なグローバル対策の指針となる「徳島県経済グローバル化対応基本方針」を本年7月に策定しており、本指針に基づいた本県商工業の競争力強化に取り組む。 また、「海外展開支援プラットフォーム」については、正式名称が決定したため修正する。	商工
			○徳島県の輸出額 (徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分) (暦年) (‘16) 175億円→(‘22) 249億円	212億円	224億円	236億円	249億円							
			○徳島県の輸出企業数 (徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分) (暦年) (‘16) 116社→(‘22) 145社	133社	137社	141社	145社							
			○EPA加盟国を対象にした商談会 (‘19) ～(‘22) 開催											
			○海外食品フェア・機械金鳳見本市 (‘19) ～(‘22) 開催											
			○「海外展開支援プラットフォーム(仮称)」の構築 (‘19) 構築					○「 <u>とくしま海外展開支援プラットフォーム</u> 」の構築 (‘19) 構築						

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

3-4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
418	3-4-5	155	● 公立学校に「コミュニティ・スクール [*] 」を導入するために、県内外の好事例を発信し、地域に開かれた学校づくりを進めます。＜教育＞	推進				● 公立学校に「コミュニティ・スクール [*] 」を導入するために、県内外の好事例を発信し、 地域とともにある 学校づくりを進めます。＜教育＞					全国的にコミュニティ・スクールの導入校数が増加しており、国もコミュニティ・スクール導入に向けて、さらなる普及促進を目指している。加えて、来年度からの「地域と学校の連携・協働体制構築事業」において、コミュニティ・スクールを導入していること、または導入に向けて具体的な取組があることが補助要件となった。このような現状から、本県では、地域とともにある学校づくりのより一層の推進が必要であるため、コミュニティ・スクール導入校数を上方修正する。	教育
			○「コミュニティ・スクール」を導入した学校数 (累計) ('17) 16校→('22) 20校	18校	18校	20校	20校	○「コミュニティ・スクール」を導入した学校数 (累計) ('17) 16校→('22) 240校	22校	60校	120校	240校		

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

3-5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
440	3-5-1	158	● 藍製品をはじめとする伝統工芸品について、県内イベント等における体験コーナーやスポーツとコラボレーションした展示の設置など、利用促進に向けて情報発信を強化するとともに、三大都市圏をはじめとする県外及び海外での工芸品展や見本市等への出展を積極的に支援することにより、伝統工芸品の販路拡大と産業の振興を図ります。 ＜商工＞	推進									正式名称が決定したため「仮称」から修正する。	商工
			○伝統的工芸品の国内外の工芸品展及び見本市出展件数 ('17) 20件→('22) 25件	22件	23件	24件	25件							
			○藍産業協同組合（仮称）の設立 ('19) 設立					○（一社）藍産業振興協会の設立 ('19) 設立						
451	3-5-3	161	● 産業界との連携等により、テクノスクールの訓練内容の充実強化による実践的な産業人材の育成や、子どもの頃から「ものづくり産業」に対する職業観の醸成を図るとともに、ドイツ手工業会議所との職業訓練交流及び徳島版マイスター制度 [*] を推進します。＜商工＞	推進				● 産業界との連携等により、テクノスクールの訓練内容の充実強化を図り、複数の技能を有する人材や最新技術に対応できる人材を育成します。また、子どもの頃からの「ものづくり産業」に対する職業観の醸成を図るとともに、ドイツ手工業会議所との職業訓練交流及び徳島版マイスター制度 [*] を推進します。＜商工＞					県内中小企業における人手不足や、急速に進展する技術革新に対応するため、テクノスクールにおいて、複数の技能を有する人材や、「Society5.0」等の最新技術に対応できる人材の育成に取り組む。	商工
			○テクノスクール訓練生の技能照査 [*] 合格率 ('17) 77.7%→('22) 81.0%	78%	79%	80%	81%							
			○離職者等に対する職業訓練の設定コース数 ('17) 39コース→('22) 47コース	41 コース	43 コース	45 コース	47 コース							
			○技能検定受検者数 ('17) 1,264人→('22) 1,440人	1,330人	1,360人	1,400人	1,440人							
			○技能五輪全国大会、技能グランプリ等への出場者数 ('17) 4人→('19) ～('22) 年間10人	10人	10人	10人	10人							
			○ドイツとの職業訓練交流における企業での実習日数 ('17) 一→('19) ～('22) 年間3日	3日	3日	3日	3日							

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

4-2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
475	4-2-1	168	● 3大国際スポーツ大会のキャンプ地誘致や、県内での競技大会開催を積極的に推進し、生涯スポーツの機運醸成や県内選手の競技力向上はもとより、地域経済の活性化や国際交流の促進を図ります。＜県民＞	推進									ドイツ、カンボジア、ネパール、ジョージアのホストタウンとして、代表チームのキャンプ地誘致の取り組みを進めてきた結果、ドイツ・柔道、カヌー、ハンドボール、そしてカンボジア・水泳の事前キャンプ・基本協定の締結に至り、4件の事前キャンプ実施がほぼ確実となったことから、更なる国・競技のキャンプ地誘致実現を目指し、上方修正する。	県民
			○「ラグビーワールドカップ2019」における事前チームキャンプ実施('19) 実施											
			○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数('17) →('20) 4件		4件			○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数('17) →('20) 6件		6件				
			○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」における県内での競技大会開催('21) 開催											
487	4-2-3	170	● 大型国際スポーツ大会の開催を産地づくりのターニングポイントと位置付け、次世代につながる「安全安心なフードレガシー」を創出します。＜農林＞	推進									「ステップアップフォーラム」に名称が確定したため。	農林
			○GAP認証取得「ステップアップフォーラム(仮称)」の開催('19)～('22) 開催					○GAP認証取得「 <u>ステップアップフォーラム</u> 」の開催('19)～('22) 開催						
			○農林水産省GAPガイドライン準拠以上の認定件数(累計)('17) 35件→('22) 70件	50件	60件	65件	70件							
			○公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数(累計)('17) →('20) 8品目	4品目	8品目									
			○ホストタウン対象国メニュー開発数(累計)('17) →('20) 8メニュー	4メニュー	8メニュー									

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

4-4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
492	4-4-1	173	● 障がい者スポーツの裾野の拡大と次世代パラアスリートの発掘・育成を図るため、障がい者スポーツ実施のための環境や、幼少期からスポーツに参画する機会を創出し、障がい者スポーツ活動の活性化を図ります。＜保健＞	推進									名称が確定したことから、仮称を削除する。	保健
			○パラアスリート育成「トップアスリート・スクーリング（仮称）」参加者数 (’17) → (’22) 60人	30人	40人	50人	60人	○パラアスリート育成「 <u>トップアスリート・スクーリング</u> 」参加者数 (’17) → (’22) 60人						
			○「ジュニア・アカデミー（仮称）」参加者数 (’17) → (’22) 100人	70人	80人	90人	100人	○「 <u>ジュニア・アカデミー</u> 」参加者数 (’17) → (’22) 100人						
			○特別支援教育「ユニバーサル運動プログラム（仮称）」の作成 (’19) 作成											
			○「パラスポーツ人材バンク（仮称）」の創設 (’20) 創設											

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

4-5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
500	4-5-2	175	● 広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供するため、民間との連携を図るなど魅力ある企画展やイベントを開催します。(再掲)＜教育＞	推進					推進				R3年の8月に県立博物館新常設展のグランドオープンを予定していることから、R3年度の目標数値は年度途中からの影響を考慮して83万人に、R4年度の目標数値は85万人に上方修正する。	教育
			○文化の森総合公園文化施設入館者数 (‘17) 814,816人→(‘19) ～(‘22) 年間81万人	81万人	81万人	81万人	81万人	○文化の森総合公園文化施設入館者数 (‘17) 814,816人→(‘22) 年間85万人	81万人	81万人	83万人	85万人		
			○恐竜化石含有層の発掘及び調査 (‘19) 本格実施											
			○恐竜化石専用コーナー「徳島恐竜コレクション」の開設 (‘21) 開設											
			○博物館60周年記念展 「とくしまタイムトラベル(仮称)」の開催 (‘19) 開催											
			○「文化の森デジタルアーカイブ(仮称)」の公開 (‘20) 構築・公開											
			○自然災害関係古文書及び歴史的公文書のデジタル化 (‘20) 完了・公開											
			○「ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会」の開催 (‘20) 開催											
			○文化の森総合公園「県立博物館」グランドオープン (‘21) グランドオープン											
			○文化の森総合公園「野外彫刻展(仮称)」の開催 (‘20) 開催											

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

5-1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
509	5-1-2	179	●「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づき、水源をはじめとする環境や防災面で重要な森林について、所有者の管理放棄や目的が明らかでない森林買収などに対応するため、県民共通の財産として、取得や公的機関による管理を進め、適正な保全を推進します。＜農林・企業＞	推進									「とくしま森林バンク」に名称が確定したため。	農林・企業
			○「公的管理森林」面積(累計) (‘17) 6,152ha→(‘22) 12,300ha	8,100ha	9,150ha	10,725ha	12,300ha							
			○うち「とくしま県版保安林」の指定面積(累計) (‘17) 265ha→(‘22) 600ha	375ha	450ha	525ha	600ha							
			○「とくしま森林バンク(仮称)」の創設 (‘19) 創設					○「とくしま森林バンク」の創設 (‘19) 創設						
			○うち県営水力発電の水源かん養に資する ダム水源地での公有林化の支援(累計) (‘17) 418ha→(‘22) 882ha	582ha	682ha	782ha	882ha							
512	5-1-2	179	●「健全な森林」、「豊かな森林」をつくるため、コンテナ苗木の採用・省力化などの効率的な造林や間伐、針広混交林・複層林への誘導、広葉樹林の整備を推進します。＜農林＞	推進									大口の林業事業体において、本県が推進するコンテナ苗木が採用され、人工造林面積の増加が見込まれることから、コンテナ苗木の増産体制が整備されるR3年度以降の数値目標を上方修正。	農林
			○人工造林面積 (‘17) 100ha→(‘22) 160ha	110ha	130ha	150ha	160ha	○人工造林面積 (‘17) 100ha→(‘22) 200ha	110ha	130ha	160ha	200ha		
			○間伐等森林整備面積(累計) (‘17) 24,552ha→29,000ha	26千ha	27千ha	28千ha	29千ha							
515	5-1-3	180	●「環境首都とくしま・未来創造憲章」に掲げる行動指針「食物の恵みに感謝し、食材を無駄なく使い、食べ残しはやめましょう」に基づき、「食品ロスの削減」に向けた取り組みを推進します。＜県民＞	推進									令和元年10月30日に開催した「食品ロス削減全国大会in徳島」に向け、行政、事業者、県民等の多様な主体による「食品ロス削減」に関する取り組みを推進する中で、初年度において目標を上回る「とくしま食べきるんじょ協力店」登録数を得ることができた。今後この動きをさらに加速するため、登録店舗数について上方修正する。	県民
			○「食品ロス削減全国大会」の開催 (‘19) 開催											
			○食品ロス削減の啓発活動の実施数(累計) (‘17) 11件→(‘22) 60件	30件	40件	50件	60件							
			○「とくしま食べきるんじょ協力店」 登録店舗数(累計) (‘17) 1→(‘22) 35店舗	20店舗	25店舗	30店舗	35店舗	○「とくしま食べきるんじょ協力店」 登録店舗数(累計) (‘17) 1→(‘22) 90店舗	60店舗	70店舗	80店舗	90店舗		
			○「食品ロス削減モデル」の構築 (‘21) 構築											

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

5-2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
526	5-2-1	183	●「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、産学官金による自然エネルギーの推進体制として、「自然エネルギー活用プロジェクトチーム（仮称）」を創設します。＜県民＞	推進				●産学官金による自然エネルギーの推進体制として、「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」を創設し、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の実現に向けた取組を推進します。＜県民＞	推進				令和元年11月に「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」が創設されたため、仮称を削除し、プロジェクトチームの今後の活動の方向性を明らかにした。	県民
			○「自然エネルギー活用プロジェクトチーム（仮称）」の創設 ('19) 創設					○「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」の創設 ('19) 創設						

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

5-3 自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
新規								●「地域の宝・棚田」を恒久的に維持できるよう関係機関と連携し、棚田地域の振興施策を推進します。＜農林＞	支援				本年8月に施行された棚田地域振興法を受け、貴重な国民的財産である棚田を保全することにより、農産物の供給のみにとどまらず、様々な多面的機能の維持・発揮を促進するなど、棚田を核とした棚田地域の振興に取り組む。	農林
								○「棚田地域振興法」に基づき国から指定される指定棚田地域数 ('17) → ('22) 5地域	2地域	3地域	4地域	5地域	棚田地域振興法に基づき国から指定される「指定棚田地域」の指定地域数を目標に設定。	
559	5-3-3	188	● 海・川における良好な水質環境を維持するとともに、生物の多様性・生産性が確保された豊かな海（里海）を創出し、次世代に継承していくため、県民への意識啓発や地域における自主的な活動の核となる人材の育成等を図り、「とくしまのSATOUMI（里海）」の実現に向けた施策を推進します。＜県民＞	推進									「とくしまSATOUMIリーダー」、「とくしまSATOUMIジュニアリーダー」及び「とくしまSATOUMIフレンドシップ団体」の3者を総称して、『「里海」創生リーダー』としたため、名称変更する。また、本年度の実績見込みを考慮し、数値目標を上方修正する。	県民
			○水質環境基準の達成率（河川・海域） ('17) 100%→('19) ～('22) 100%	100%	100%	100%	100%							
			○とくしまSATOUMIリーダー認定数（累計） ('17) → ('22) 100人	25人	50人	75人	100人	○「里海」創生リーダー認定数（累計） ('17) → ('22) 140人	50人	80人	110人	140人		

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

5-4 徳島発！持続可能な行政手法の発信

番号	該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
575	5-4-2	191	● 徳島の注目度をアップさせ、県勢の発展につなげるため、時代に即した利便性の高い広報媒体を有機的・効果的に活用し、県民はもちろん国内外の方に魅力的な情報発信を展開します。 また、県民からの提言等を積極的にくみ取り、県の施策に反映します。＜経営＞	推進									情報発信力の強化を図る観点から、若手職員ら人材を育成することにより、時代に即した広報事業を積極的に展開する。	経営
			○「徳島県SNS [※] 」利用登録数 (‘17) 130,000件→(‘22) 160,000件	142,000 件	148,000 件	154,000 件	160,000 件							
			○外国語コンテンツの充実発信 (‘19) 実施											
			○海外向けSNS広告の導入 (‘19) 導入											
			○県民密着型テーマによるケーブルテレビ番組の制作・放送 (‘19) 制作・放送											
新規								○5G時代に向けた職員によるVR動画の制作・発信 (‘19) 制作・発信						
578	5-4-3	192	● 財政の健全化を図るため、「実質公債費比率の改善」をはじめとする、「財政構造改革基本方針」の目標達成に向けた取組みを推進します。＜経営＞	推進				● 「政策創造」と「健全財政」を両立するバランスの取れた「持続可能な財政運営」を推進するため、「実質公債費比率の堅持」をはじめ、新たな「財政構造改革基本方針(R2～4)」の目標達成に向けた取組みを推進します。＜経営＞	推進				「令和2年度～4年度」を改革期間とする新たな「財政構造改革基本方針」を年内に策定するため、現在設定予定の改革目標を反映するもの。	経営
			○実質公債費比率 (‘17) 14.6%→(‘19) 13.0%程度	13.0% 程度				○実質公債費比率 (‘17) 14.6%→(‘22) 12%台以下	13.0% 程度	12%台 以下	12%台 以下	12%台 以下		
			○公債費（一般会計決算ベース、臨時財政対策債を除く） (‘17) 514億円→(‘19) 500億円未満	500億円 未満				○公債費（一般会計決算ベース、臨時財政対策債及び国緊急対策に伴う新設地方債(R2以降)を除く） (‘17) 514億円→(‘22) 440億円未満	500億円 未満			440億円 未満		
			○県債残高（一般会計決算ベース、臨時財政対策債を除く） (‘17) 5,011億円→(‘19) 5,000億円未満	5,000億 円未満				○県債残高（一般会計決算ベース、臨時財政対策債及び国緊急対策に伴う新設地方債(R2以降)を除く） (‘17) 5,011億円→(‘22) 4,800億円未満	5,000億 円未満			4,800億 円未満		
			○財政調整的基金残高（一般会計決算ベース） (‘17) 720億円→(‘19) 800億円	800億円				○財政調整的基金残高（一般会計決算ベース） (‘17) 720億円→(‘22) 800億円以上	800億円	800億円 以上	800億円 以上	800億円 以上		
582	5-4-3	192	● 時代の流れに対応し、持続可能な行政サービスが提供できる「行財政基盤」を構築するため、「新とくしま行革プラン(仮)」を策定し、行財政改革を推進します。 ＜経営＞	策定・ 推進				● 時代の流れに対応し、持続可能な行政サービスが提供できる「行財政基盤」を構築するため、「 <u>とくしまスマート県庁推進プラン</u> 」を策定し、行財政改革を推進します。 ＜経営＞					プラン策定によるプラン名称の修正	経営
			○「新とくしま行革プラン(仮)」の策定 (‘19) 策定・推進					○「 <u>とくしまスマート県庁推進プラン</u> 」の策定 (‘19) 策定・推進						
593	5-4-3	193	● 県南部・県西部の住民にも運転免許更新時における「即日交付」の利便性を拡充するため、阿南市及び阿波市に「運転免許センター」を整備します。(再掲)＜警察＞	整備	開設	推進		● 県南部・県西部の住民にも運転免許更新時における「即日交付」の利便性を拡充するため、阿南市及び阿波市に「運転免許センター」を整備します。また、各運転免許センターからの遠隔地における県民の利便性向上を図るため、「出張型運転免許更新」制度を創設します。(再掲)＜警察＞	整備	推進			令和2年4月1日をもって運転免許センターの「整備」は完了することから、令和2年度以降にあっては、運転免許センターの「運用」と出張型運転免許更新による県民サービス向上の「推進」に変更。	警察
新規			○運転免許センター（阿南市、阿波市）の開設 (‘20) 開設					○運転免許センター（阿南市、阿波市）の開設及び「出張型運転免許更新」制度の創設 (‘20) 開設・創設						
新規								● ボランティア活動の後継者育成や裾野拡大を図るため、次代を担う若者が「共感」し「持続的な活動」に繋がる具体的な方策をとりまとめた「次世代ボランティア活動推進プログラム」に基づき取組みを推進します。＜県民＞	推進				ボランティア活動者の固定化や高齢化による後継者不足が常態化している事を踏まえ、第一線で活躍する若手NPO職員や学生ボランティア、中間支援センター職員等で構成された「プロジェクトチーム」による検討を重ね、本年6月にプログラムとしてまとめたところであり、今後取組みを推進していく必要があるため。	県民